

松島町教育委員会会議議事録（令和6年9月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和6年9月27日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎3階 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、鈴木康夫委員（教育長職務代理者）、佐藤晴子委員、櫻井智恵委員
- 4 欠 席 者 小澤晴司委員
- 5 説明のため出席した者  
千葉忠弘教育次長、蜂谷文也課長、松村武文学校教育班長、齋藤幹雄生涯学習班長、森田義史町史編さん室長、赤間香澄中央公民館長、熊谷賢学校給食センター所長、永沼昌一教育指導専門員、金津晶子学校教育班主査
- 6 議 事 日 程
  1. 開会 令和6年9月27日（金曜日）午前9時30分 開会（録音開始）
  2. 前回委員会の議事録の承認
  3. 議事録の署名委員の指名 鈴木委員・佐藤委員
  4. 報告事項
    - (1) 一般事務報告
    - (2) 教育長報告
    - (3) 令和6年第3回松島町議会定例会について
    - (4) 児童生徒状況報告（令和6年度上半期分）について【非公開】
  5. 議事  
議案第7号 令和6年度（令和5年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書について
  6. 協議事項
    - (1) 令和6年10月定例会について  
日程案：令和6年10月25日（金）午前9時30分 松島町役場3階 301会議室
  7. 閉会

## 7 議 事 録

### 1. 開会 午前9時30分

〔金津主査〕 それでは、定刻となりましたので、松島町教育委員会会議令和6年9月定例会を開催します。

本日、小澤委員より欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

それでは、開会の挨拶を内海教育長よりお願いします。

〔内海教育長〕 はい。おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

今子どもたちは2学期の真っ最中で、折り返し地点に入りました。ホームページ等見ていただくと分かるように、水族館に行ったり科学館に行ったり、中学校では職業人の話を聞いたり、私も見に行ったのですが、とても楽しい会であったということで、いろいろ紹介があると思いますので、挨拶はこの程度にして中身のほうに入っていきますので、ご意見どうぞよろしくお願いします。

以上です。

〔金津主査〕 ありがとうございます。

### 2. 前回委員会の議事録の承認

〔金津主査〕 続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認について、8月定例会の議事録について、配付のとおり承認ということでよろしいでしょうか。（「いいと思います」の声あり）

定例会終了後に署名をお願いいたします。

### 3. 議事録の署名委員の指名

〔金津主査〕 続きまして、3番、議事録署名委員の指名となります。

今回は、鈴木委員と佐藤委員を指名させていただきます。よろしくをお願いいたします。（「お願いします」の声あり）

### 4. 報告事項

#### (1) 一般事務報告

〔金津主査〕 続きまして、4番、報告事項に移ります。

1番、一般事務報告について、学校教育班から報告をお願いします。

〔松村班長〕 はい。それでは資料1ページになります。行事報告からご説明のほういたします。

9月4日から19日にかけて、9月議会定例会が開催されました。教育委員会関係部分につきましては、後の議会報告のところでご説明のほうさせていただきます。

18日から19日まで、第一小学校の5年生、第五小学校の4、5年生が花山合宿を行いました。また、19日から20日まで、第二小学校の5年生が花山合宿を行っております。各学校とも事故なく花山合宿を終了しております。

行事報告につきましては以上です。

引き続きまして、資料の2ページになります。主な行事予定についてです。

9月28日に各幼稚園において運動会が開催される予定です。

また、29日にかけて、仙台北地区中学校新人体育大会が開催される予定です。なお、今回の新人戦以降に実施されます中体連関係の地区大会につきましては、全ての競技におきまして、仙台北地区単位に範囲が広がり開催される運びとなっております。

10月4日、全国町村教育長会第2回理事会が東京都で開催される予定であり、教育長が出席予定です。

19日、各小学校で学習発表会が開催される予定です。

また、20日に中学校で運動会が開催される予定です。

23日に宮城県市町村教育委員会協議会第2回教育長部会が自治会館で開催される予定です。

学校教育班からは以上となります。

〔金津主査〕 続きまして、学校給食センターからお願いします。

〔熊谷所長〕 それでは3ページ目をご覧ください。

9月の12日に栄養教諭による食育指導を第二小学校の1、3、6年生を対象に、それぞれのテーマごとに実施いたしました。

9月18日は松島第一小学校の1年生と保護者で試食会を行いました。

9月24日から27日まで、松島中学校1年生の各クラスごとに家庭科の授業で献立作成のポイントについて食育指

導を行いました。

続きまして、行事予定について説明いたします。

10月24日、松島第一幼稚園の年長園児と保護者で試食会を実施する予定となっております。

以上となります。

〔金津主査〕 それでは、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

佐藤委員

子どもたちが事故なく過ごしているということで、教育長先生はじめ教育委員会の皆様には感謝いたします。ありがとうございます。

私のほうからは3点お話しさせていただきます。

1点目は、校外学習、合宿ということで、子どもたち、このたび花山だったり、先ほど教育長先生からもお話ございましたけれども、うみの杜水族館と、そういった学校以外の様子をホームページにて拝見させていただきました。とても楽しそうで生き生きしていましたし、それから話を聞く態度がとっても立派だなというふうに思いました。

まず、この学校から外に出たときに、きちんと話を聞けるのかというところが非常に大切なことと思っております。そこは日々の学校教育の中できちんとご指導いただいているたまものというふうに思います。子どもたち、外に行ってもやはりいろんなものを吸収して、これからの健やかな成長につながっていくのではないかなと思っております。

2点目は、いじめ防止動画のほう、こちらのほうもホームページから拝見させていただきました。それぞれに良さはあったのですが、特に松中さんの「星に個性を輝きを」ということで、天の川を、つながれ輝くの彩りの星ということで、生徒が一体となって、全員同じ方向を向いて貼っている様子、とてもすばらしいなど。ああいうところで生徒同士の交流がありますし、そして団結している、松中としてどういうふうにしていくのかというところあたりがとてもほほえましく、うれしい気持ちで拝見させていただきました。

最後、3点目です。食育指導についてです。こちらのほうも、黒板にいろんな掲示物があったり、視覚教材をとても工夫されて、子どもたちも興味関心を持って話を伺っていたなというところがとても良かったと思います。お話だけではなく、ああいう教材を貼っていただいたりしますと、子どもたち集中して理解できる、それから取り組むことができるかなと、今後の生活に生かしていける内容でございますので、これからもぜひよろしくお願ひしたいと思っております。

以上でございます。

内海教育長

ありがとうございます。校長に伝えておきます。

〔金津主査〕 続きまして生涯学習班より報告をお願いします。

〔齋藤班長〕 続きまして生涯学習班の主な行事報告について説明いたします。

4ページをご覧ください。あわせて、配付しております資料、A4判の表題が、松島まるごと学「職業人の話を聞く会」も一緒にご覧になっていただければと思います。

まず、9月13日に松島まるごと学「職業人の話を聞く会」を実施しております。松中2年生81名を対象に、新聞記者や海上保安庁職員など13職種から生徒個人が関心のある4職種を選択し、各講師から仕事の内容や仕事の中での経験などの話を受けております。進路や将来の夢に向かってのアドバイス、ヒントを受けた形になっております。印象としましては、生徒たちは興味関心を持ちながら、真剣に質問したり、お話を聞いておりました。

続きまして、4ページ、もう一度資料戻っていただきたいのですが、次に9月21、22日の2日間にわたってジュニア・リーダー育成事業二市三町合同キャンプを東松島市で開催しております。今回の合同キャンプは担当町として活動を主導し、参加生徒28名のうち松島町から12名が参加しました。当日は残念ながら雨だったんですけれども、内容を変更しての活動として、炊飯活動やキャンドルファイヤーなどの活動を行い、2日間の活動は無事に終了しております。

続きまして、行事予定について、主な内容について説明いたします。

10月3日に宮城県巡回小劇場、演劇公演を文化観光交流館で開催します。町内小学校4、5年生178名が演劇を鑑賞します。劇を演じるのは児童専門劇団の劇団風の子北海道という札幌市に拠点を置く団体となります。

次に、10月23日に松島まるごと学、品井沼体験学習を第二小学校の4年生28名を対象に実施します。地元講師の方から解説をいただきながら、資料館や元禄潜穴などを見学します。

続いて、10月25日に、同じく松島まるごと学、歴史体験学習を第五小学校の6年生11名を対象に実施します。松

島四大観巡りとして、富山に併せて大仰寺において座禅体験を行ってまいります。

生涯学習班の行事報告及び行事予定については以上となります。

〔金津主査〕続きまして、町史編さん室からお願いいたします。

〔森田室長〕はい。町史編さん室の資料は5ページになります。

行事報告につきましては、9月26日木曜日第4回ボランティア養成講座を文化観光交流館で行いまして、内容としましては、古文書の整理、写真撮影などを行っております。

行事予定につきましては、10月9日水曜日に全国史跡整備市町村協議会の総会・研修会を多賀城市で開催する予定になっております。こちらは全国の自治体から300名程度の参集が予定されておりまして、翌10日、11日にはエクスカッションということで、松島町からは60名の参加者がある予定で、雄島を案内する予定にしております。

以上です。

〔金津主査〕続きまして、中央公民館からお願いいたします。

〔赤間館長〕はい。6ページになります。

行事報告でございますが、9月の6日、「GO!町歴史探検」のほうは、松島海岸方面にお連れしまして見学しました。

14日の「夏の冒険～火編」は今年、こころ・はぐくみ隊事業が公民館の事業となりまして、3回目の開催となっております。参加者は16名でございました。

9月22日日曜日ですが、第27回長松園まつりが雨天の中開催され、50名ほど参加して、神事が執り行われました。

続いて、行事予定になります。10月6日日曜日ですが、陸上自衛隊の音楽隊の松島ふれあいコンサートが開催されます。14時15分から、松島中学校の吹奏楽部1年生、2年生の生徒さんと教員2名合わせて11名が歓迎演奏ということで演奏を披露してございます。この後、自衛隊の演奏ということになります。本日、皆様に招待券をお渡ししておりますので、ぜひご来場いただけたらなと思っております。

なお、予定には含まれてはいないのですが、10月27日日曜日、公民館の大きなイベントであります文化観光交流まつりが開催される予定となっております。こちらにも2,000人規模で来場者がある大きなイベントでございまして、予定に皆様入れていただけたらと思います。

以上でございます。

〔金津主査〕それでは、生涯学習班、町史編さん室及び中央公民館等からの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

(質疑)

鈴木委員

素晴らしい活動をたくさんされていていいなと思いました。

1、2点。1つは、9月12日の中央公民館の社会教育拠点施設訪問というのは、観光交流館を見学ということですね。対象は。

赤間館長

仙台教育事務所の職員の方です。

鈴木委員

仙台教育事務所の職員の方がおいでになられて、見ていかれたのですね。

赤間館長

はい。年間の公民館事業について把握されていて、分館の運営を展開する上で、様々なお話を伺ったりします。

鈴木委員

わかりました。ありがとうございます。

それから職業人の話を聞く会。これいいですね。講師選定も工夫されて。私も参加して聞いてみたいと思ったので。これ4チームに分けるとき偏りはなかったのですか。難しいですね。

齋藤班長

実際は希望どおりいかなかったです。

鈴木委員

人数調整しないといけないですね。先ほどのご説明だと、子どもたちから質問があったということですが、これ子どもたちに非常に影響ありますね。本当に素晴らしい取り組みで、継続してもらいたいなと思います。

内海教育長

お話されているところを録って学校内で映すとか。普段なかなか接することができない方の話なので。あるいは、毎年撮りだめて、なりたい職業を調べる際に利用するというのもいいのかなと思います。今思いついたのですが。あまり負担ならない程度にやれる範囲で蓄積してあげるといいのかなと思いますので、よろしく申し上げます。

鈴木委員

他の市町村で取り組んでいる事例はあるのですか。

蜂谷課長

職業人ということで話を聞いているという事例を聞いたことはありますが、ここまで他分野にわたって職種を聞いているというのはあまりないのではないかなと思っています。

千葉教育次長

町外の学校で、たまたま私の知人が講師役で、漁業関係で呼ばれたというのはちょっと耳にし

兼課長 しておりました。

内海教育長 あと、地域学校協働活動のコーディネーターの力も大きかったです。色々な方との関わりが多いので。

齋藤班長 まさしく今、教育長がおっしゃったようにコーディネーターが切り口として入っていきますので。

佐藤委員 コーディネーターさんはどちらにいらっしゃるんですか。

齋藤班長 地域学校協働本部というものがあまして、そこにコーディネーターを2名配置しています。地元の社会教育に精通した方をお願いしております、その方は1人商売をしていますので、そのつながりを。

鈴木委員 子どもたち、夢が多岐にわたるよね。限られていましたものね。自分たちのときは。

内海教育長 たくさん選択肢があるとね、途中まで、これやりたいなと思っても、また、こっちに行く可能性もあるからね。

齋藤班長 松中と、あとコーディネーターのアドバイザーにもよろしく言ってください。

佐藤委員 伝えておきます。

いいですか。私もこのまるとしての職業人の話を聞く会、とてもすばらしいなと思っていて、まずは講師の数ですね、なかなかここまでバラエティーに富んだ職種で、これだけの方々からお話を聞くというのは本当に非常に貴重な機会であったなと。まさに企画運営されてくださって、ほんとにすばらしいと思います。ありがとうございます。

この写真を拝見したときに、私、子どもたちの姿勢というのも、とっても興味があって、6ページとか見ると、話の聞き方立派ですよ。きちんと前向いて話聞いていますし、あと7ページのおじぎの仕方とっても深々と頭を下げているところとか、これは学校の中、ご家庭でもあるとは思いますが、学校でもきちんとこのあたり所作というか、礼儀作法としてきちんとしつけられているところが、こういったところでいろいろ姿として表出されるかなと。こうしていらした先生方も、これだけ深々と頭を下げられたり、話を聞いている姿を見ると、来てよかったなと、話してよかったなというお気持ちになられると思いますので、本当にすばらしい企画だったと思います。ありがとうございます。

櫻井委員 職業人の話を聞いて、感想というか、私の息子が松島中学校で話を聞く会に参加させていただいて、本人としては興味がない仕事の話も聞くことができ、いろんな職種、今まで携わったことがなかったり、例えば古い師さん、古い師さんの話はうちの子は聞いていないんですけど、どういう仕事か、名前だけ分かっても仕事の中身が分からないとか、そういうところも聞けたというのが、ほかのお子さんもそうですけど、すごくためになったと言ってました。この後に、この職業人の話を聞く会を受けて、今度、職業体験のほうにつながっていくので、そちらのほうにもすごく参考になったと言ってました。

鈴木委員 納棺師の方のお話を聞く機会とかなかなかないですね。

## (2) 教育長報告

〔金津主査〕 続けさせていただきます。(2) 教育長報告について、内海教育長お願いいたします。

〔内海教育長〕 はい。私の方から大まかに2点お話させていただきます。

1点は、昨日、松島第五小学校のPTA役員会に蜂谷課長と私が出向いて、小規模特認校制度の今後の流れについて、15名程の方々にお話しさせていただきました。来年度、7年度から、2年と3年が複式、4年と5年が複式、だから複式が2つになるということで、いよいよもって小規模特認校制度のスタートもやっていかなきゃならないということで今後の流れをPTAの役員の方に説明しました。募集要項の配布は大体10月の中旬、それから特認校となる松島第五小学校の授業を見学してもらおうと。見学しない人は入れないと。絶対条件として見学があると。それから、募集期間は11月の中旬から11月の下旬と。つまり半月くらいの間で募集をします。あと、親子面談します。正式には12月中旬になります。

学校は学校で、複式解消の加配を県には求めますけども、それと同時に、こちらの小規模特認校制度は動き始めます。小規模特認校制度は、松島に在住しているお子さんが一小の学区、二小の学区を外して松島五小に行きたいという子がいれば認めると。ただ、面談の中で、いろいろ条件がありますので、特認校の教育活動にももちろん賛同して、行事とかにも絶対出してもらおうと。学校には行くけど行事には関わりないということ、コミュニティー

が壊れる要因にもなるので、そういうことではなくやっていただく。それから、送り迎えは保護者の責任のもとに。教育委員会は送り迎えでは携わらないと。それから、入学して、転学して、あれ、おかしいな、期待していた学校とちょっと違うなどという場合には、少なくとも1年以上はきちんと在籍してもらって、抜けていくという形を取ってもらうという形で説明してきました。ご理解していただいたようで、もし細かいところで分からないときには、いつでも私か蜂谷課長が出向いて説明するという形でスタートしましたと、キックオフしましたという形になります。まず委員さんのほうにお知らせを申し上げます。

なお、アンケート結果で、小規模特認校制度の導入についてどう思われますかというのと、「とても良い」が48%、「どちらかといえば良い」が33%、足すと80%の人たちが、良いというような話ですが、実際動き始めると、この数字変わるかもしれませんので、十分に説明責任を果たしながら段取り良く進めていきたいなと思います。

2つ目は、レジュメをご覧ください。町内校長会議ということで、まず真ん中の「教育委員会として」ということで、学テから分かったことということで、やっぱり学テの平均正答率を上げるのには、基本的なことが大切だと改めて分かりました。それは、学習規律や授業規律、それから潜在的カリキュラム、これは後で説明します。こういうのがあれば、学校としては十分に学テの点数が上がる一つの要素を持ち得ているということが分かりました。学習規律については、以前から私の頭にあったのですが、学習規律、つまり授業中きちんと机に座って、先生のお話を聞いて、先ほど、座り方がいいですね、おじぎの仕方いいですねと言われたような状態で授業を受けなければ、やっぱり子どもたちも分かんないわけですね。学級が騒いでいる中、先生がしゃべっていることは全然何にも入らないので。今後もこれはしっかり続けていきたいなと思っております。

それから、普段の授業の徹底ということで、やっぱり子どもの学力が上がるというのは、教師が変わらなきゃ絶対上がらないという不変の法則があると。子どもに突然学力がつくわけではなく、教師の教え方がどうであるかということを含めていくと子どもの学力が上がっていくということが改めて分かりました。

それから、赤の丸2つなんですけども、中学校の数学がいまひとつでした、正直申し上げます。その根源がこの辺りにあるのではないかと。小学校2年生の九九、小学校3年生の掛け算、小学校4年生の割り算、この辺りを市販のテストでどの子も100点取れるように今後やっていかないと、と校長会で確認をしました。

それから、幾ら限られた時間の中で、授業の中でやったとしても、どうしても時間切れになってしまう可能性があるので、家庭学習にも協力してもらって、家庭学習でもこの2、3、4あたりをしっかりとやっていきたいなと思っています。

それから、次のページ、ご覧ください。

潜在的カリキュラム、これヒドゥンカリキュラムとって、ヒドゥンは隠れるという意味ですね。隠れたカリキュラムということで、実は東北学院大学の佐藤先生をお招きして、この学習規律とか、こういう話の中にヒドゥンカリキュラム、潜在的なカリキュラムというのを教えていただきました。この衝撃度は相当強かったです、先生も。例えば、左側、ちょっと粗い画像で申し訳ないのですが、教室なのですが、乱雑になっています。机の下がごみが置かれています。黒板にはいたずら書きがしてあります。掲示物がはがれています。こういう学級で暮らしていると、だんだんそれに慣れてきて、子どもたちの荒れが始まるということになります。これが見えないカリキュラムというやつで、環境が子どもたちの学習に相当な影響を及ぼす。こうなると、黒板はきれいにしておくとか、掲示物は曲がらないようにしておくとか、椅子、机はきちんとしておく。下に物を落とさないようにするとか、こういうのをやっぱり先生方中心にやっていくと。

規律というのと、どうしても、縛るという意味がありますが、こういう汚れた教室ではないところで勉強したいんだけど君たちはどう思う、と投げかけて、子どもたち自身が、そうだね、先生、休み時間に拾おうねとか、そういう形に持っていけるように今後やっていくと。

こういうのを見たら、先生方の職員室で、机を整理していた先生がたくさんいたと言っております。潜在的カリキュラムです。

それから右が、キモい、ウザい、こういう言葉が頻繁に学級の中であった場合については、これも潜在的カリキュラムで、子どもたちの心が荒れていって、最終的には不登校になったりするというような部分があります。先生が言語の活動、言語環境の見本だということで、うるさい、だまれ、という言葉ではなくて、誰々君、誰々さん、何とかしましょうねと、そういう言葉を使っていかなければならないということです。

裏ご覧ください。授業評価です。これは何のことかというのと、子どもが先生の授業に通信簿をつけるという、これがなかなか抵抗ありました。子どもたちが、今日の勉強分かったかと。分かんないと言えば3番に丸をつけます。先生の質問は分かりやすかったかと。1人で何かしゃべっていたよとか。こうやって実際に子どもが先生の授業を評価する。力ある先生はいいよ、やっていいよとなりますが、そうでなければ、そのようなことをする必要があるので、自分をなかなか省みないような感じになります。

一番下ご覧ください。すばらしい先生はこういうこと書かれます。先生の笑顔がすてき。説明が分かりやすい。ドリルをもっと活用すると良い。それから、授業後の復習をお願いしたい。もう少し分かりやすい工夫をしてほしい。理解できない人への説明が良かった。みんながうるさくなったり、もっと怒ったほうがいい。それから、先生の教え方がうまいので、アドバイスはなしです。

こういうやり取り、自分で見て、そうだな、もっと笑顔が大切だなとか、もっと分かりやすい質問が必要だなとか、みんなで考えさせないといけないというような工夫をしてもらおうように強く働きかけていきたいなと思います。

長くなりましたが、以上でございます。

〔金津主査〕ありがとうございました。それでは、ただいまの教育長からの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

### (3) 令和6年第3回松島町議会定例会について

〔金津主査〕続けさせていただきます。(3) 令和6年第3回松島町議会定例会について、事務局からお願いいたします。

〔蜂谷課長〕それでは本日お配りさせていただいている資料A3版の資料を使いまして説明させていただきます。

今回の定例会の中では、一般質問として4名議員の方から教育委員会に関わる質問を受けております。

順次ご説明申し上げますが、まず櫻井ていこ議員から、ひきこもりの支援策についてのご質問の中で、(1)として、小中学校で不登校だった生徒が成人になってからのひきこもり状況を把握しているのかとの質問がありました。教育委員会としては、児童生徒が成人になって、ひきこもりが続いている状況は追跡しておらず、把握していないということを回答しております。なお、ひきこもりのほうにつきましては、健康長寿課のほうが所管しているということもありましたので、そのほか主な回答につきましては健康長寿課のほうで回答しております。

また、(2)のほうでは、ひきこもりに対する町としての支援策を質問されました。各所管における回答を答弁しましたが、教育委員会としては、学校におけるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどによる相談、心のケアハウスにより学びの場の確保、学校復帰、社会復帰に向けた支援を行っている旨を回答しております。

次に、3番の櫻井靖議員から、子どもたちの交通安全教室の充実についての質問で、(1)として、子どもたちが交通安全を心がけるよう一層の努力を求められる質問がありました。教育委員会としましては、形骸化している認識はございませんが、警察や交通指導員などの関係機関の意見を踏まえた教室を開催するというところで答弁しております。

また、(2)では自転車の乗り方の指導についての質問がありました。特に、ヘルメットのあごひもの関係、こちらについては交通安全教室で指導を徹底しておりますが、引き続き注意を促すよう各校長に指示する旨を回答しております。

次に、中島一都議員から学校教育振興についての質問がございました。全部で6項目ですが、まず3期目を迎える教育長の抱負についての質問は、「学力向上」「豊かな心を育てる」「少子化に伴う学校のあり方について方向性を示す」の3点を重点事項として取り組む旨を回答しております。

また、(2)の学力向上への具体的な取り組みについての質問がありまして、子どもたちに分かりやすい授業を展開するため、教師のスキルアップを図る研修を実施している状況を回答しております。

また、3番では全国学力状況調査、学テの結果を生かした指導内容とその効果はという質問に対しましては、全国学力・学習状況調査の結果を生かす方法は、各学校により日々の授業の改善であるとか、宿題の量や質のほうを重視するという事なので、学校により異なる状況ではございますが、調査の結果が常に上位にあるということは、適切な対応がなされていると認識している旨を回答しております。

また、4番目、不登校の生徒、児童の状況についての質問につきましては、総数としては横ばいとなっております。中学校の割合が増加している。この中身としては、多くは小学校から引き続いてという方が多いのですが、そのような状況について説明を行いまして、また対策等については、櫻井ていこ議員と同様の回答を行っているようなところでございます。

また、(5)スポーツ施設の効果的な活用推進についてということで、現在、学校体育施設の利用状況はということでの質問がありました。現在15団体が登録し、小中学校全ての体育館と第一小学校、第五小学校の校庭が使用されている旨を回答しております。

また、(6)になりますが、学校体育施設のスポーツ器具等の点検や安全対策についての質問につきましては、学校体育施設は小中学校が管理し、破損、老朽化したものについては、教育委員会が相談を受けて、逐一、修理、

更新を行っていること。また、学校開放時には利用団体の責任において使用、管理を行っている旨を回答しております。

最後に、7番の菅野隆二議員になります。町・地域・人が気軽につながる「ワンチーム松島」になるためにはという質問の中で、各地域の担い手不足の状況、教育委員会としては、分館の役員ということでの質問がありました。現在、分館の役員については欠員は生じておりませんが、役員改選時期には一部の分館でなり手がいないとの相談を受けている旨の回答をしているところでございます。

そのほか、決算特別委員会等も踏まえまして、教育委員会所管としての大きな指摘事項もなく、審議のほうは終えております。

以上でございます。

〔金津主査〕ありがとうございました。それでは、ただいまの件で何かご質問等ございますでしょうか。

## 5. 議事

議案第7号 令和6年度（令和5年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書について

〔金津主査〕続けさせていただきます。5番、議事に移ります。

議事は、内海教育長の進行の下、行います。お願いします。

〔内海教育長〕議案第7号 令和6年度（令和5年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書についてを議題とします。

事務局から提案理由の説明を求めます。

〔蜂谷課長〕はい。それでは17ページをお開き願います。

議案第7号 令和6年度（令和5年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書について。

このことについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、別紙のとおり提出する。令和6年9月27日提出。松島町教育委員会教育長内海俊行。

詳細につきましては、担当よりご説明申し上げます。

〔内海教育長〕はい。私のほうから説明させていただきます。

令和5年度対象ですから、昨年度対象になります。

46ページ、ご覧ください。

学識経験者であります佐藤実先生から、学校教育、全ての面でどのようなかということの評価してもらったのが46ページにあります。ピックアップしながら簡単に説明させていただきます。

では、46ページの2番、基本施策ごとの見解ということで、ここの基本施策は、学びの芽生えに寄り添う幼児教育についてのコメントです。

上から4行目、ご覧ください。町内の幼稚園では、日頃から品性教育、踊育、リズム教育ですね、英語教育、読み聞かせ、指先教育。指先というのは、外に出た第3の脳と言われています。そういうのを実施して、「幼児期の終わりまで育てほしい姿」ということに迫ろうとしていることはとてもいいことだと書かれておりました。

それから、同じページの下から5行目、保護者が一番心配しているのは、我が子が幼稚園でどのように過ごしているかです。その点、ホームページによるリアルタイムの公開は、お子さんの成長の様子が把握でき、園と保護者が信頼関係をつくる上で、大きな役割を担っていると考えると、評価されたのではないかなと思っております。

次のページをご覧ください。

次のページは、2、基本施策の2、児童生徒の学びと健やかな成長を支援する学校教育。幼児教育から学校教育のほうに変わりました。

真ん中辺りをご覧ください。日頃から「普段の授業」を標榜しながら地道に取り組んでおり、全国学テでも良い結果を出していることは、町の教育方針が間違っていないことを示しており、児童生徒の学びに合わせた少数指導、TT指導、教科担任制、補助支援員のサポートなど、きめ細かな指導が行き届いていることも大いに評価できます。今後も指導力向上プログラム、「明確な目標を持たせて授業を展開する」「話し合い活動を積極的に取り入れる」「ノートを活用した授業を進める、そして評価する」「子どもの良さを認め、ほめる」「授業と一体となった宿題で家庭学習の習慣づけを行う」というような「松島スタイル」を継続することを切望しますとなっております。ありがたいなと思っております。

3番目、ふるさと松島の歴史・文化の継承ということで、47ページになりますかね、ここには、1行目、ご覧ください。松島歴史文化構想など「ふるさと松島の歴史、文化継承」の拠り所となるものを示してあるということが大切でしたということで、また、そのページの最後です。小学校で行われている「松島まるごと学」などは、観光地で生活を営む子どもたちにとっては、町の魅力を知る上で大いに役立っていると判断できますと述べてお

ります。

最後、48ページの上から2行目くらいになるんですが、これが小学校だけじゃなくて、中学校での「松島まるごと学」で郷土愛を育む内容にできないか検討を願いますということで、中学校のほうまで波及できないかというようなことで、考えてみる余地はあると思います。

それから、4番、基本施策の4番、人生100年時代に向けた生涯学習ということで、上から4行目の「また」からご覧ください。「人生100年時代」「超スマート社会(Society5.0)」に向けた社会が大きな転換点を迎える中であって、生涯学習の重要性は一層高まっています。そのことを踏まえ、今まで以上に各分館の活動や自主サークルの活動を支援したり、各種講習会を開催しながら支援していることは十分に読み取れましたということは評価していただいているということになります。

Society5.0というのは、仮想の世界と現実の世界が入り混じって、例えばビットコインとか、現金ではないけど現金みたいな扱いにする、そのような世界。あと、スマートフルの世界とか、子どもたちは仮想の世界と現実の世界が入り混じった世界で生きていかなければならないというような話として書かれています。

5番目、基本施策の5、生涯にわたって元気に楽しめるスポーツ活動ということで、この下から4行目、町民ふれあいスポーツ大会、町内幼稚園、保育所で体づくり、巡回教室、スポーツ推進委員による活動支援、全日本実業団対抗女子駅伝競走大会など上記の狙いの一翼を担っていることは評価します。今後も、高齢化率の高い本町で必要な高齢者スポーツ教室や障害者向けのスポーツ教室など、インクルーシブな社会にあって十分とは言えず、さらなる取り組みを期待します。高齢者スポーツや障害者スポーツにちょっと疑問を投げかけましたということです。

終わりに。まず最初から。今後の社会現状、2030年以降を見据えた課題として、人口減少の進展、2008年をピークに人口がどんどん減少しているんだそうです。高齢化社会の進展、技術革新、グローバル化の進化、地域間格差、消滅可能性の指摘ということで、あと子どもの貧困、コミュニティの弱体化などが挙げられます。

次ページ、49ページになります。このような時代の中で生きていく児童生徒の育成はどうあればいいのか。短期、中期、長期という視野に立って教育を進めていくことが求められていますということで提言されています。短期だけじゃなくて、10年先、20年先も考えてということで。

最後から4行目。人生100年時代。日本は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えます。一生の中で、幼稚園、学校で学ぶ期間は短く、それ以降の人生が何倍も長いのです。生涯健康で楽しく充実した人生を送るために、社会教育の果たす役割は大きいものがあります。これからも町民一人一人が元気で生きがいを持って生活できる町民の学び、集いの場になるよう、社会教育の充実、推進に大いに期待します。先のことを考えると、ここのところが非常に大切だよという最後の提言かと思います。

以上、ポイントだけお話しさせていただきました。前のほうはご覧になっていただければと思います。

以上です。すみません。議案の提案理由の説明を終わります。

質疑に入ります。質疑ございませんか。

〔鈴木委員〕素晴らしいですね。

〔内海教育長〕質疑なしと認めてよろしいですか。

それでは、議案第7号 令和6年度(令和5年度対象)松島町教育委員会教育行政点検評価報告書について採決をします。本案に賛成の委員は挙手をお願いします。(挙手多数)

ありがとうございます。採決の結果、議案第7号 令和6年度(令和5年度対象)松島町教育委員会教育行政点検評価報告書については賛成多数で可決されました。

議事が終わりましたので、進行を事務局にお返しします。

〔金津主査〕ありがとうございました。

## 6. 協議事項

### (1) 令和6年10月定例会について

日程案：令和6年10月25日(金)午前9時30分 松島町役場3階 301会議室

〔金津主査〕続きまして6番、協議事項に移ります。

令和6年10月定例会につきまして、日程案としまして、10月25日金曜日、午前9時30分から301会議室で予定しております。この日程でよろしいでしょうか。(「お願いします」の声あり)

その他ですが、令和6年度宮城県市町村教育委員・教育長研修会ということで資料を配布させていただきましたが、こちら来年1月28日にホテル白萩にて教育委員及び教育長を対象として実施を予定しておりますので、正式文書が届きましたら、また改めてお知らせさせていただきますが、ご予定のご確認をよろしくお願いします。

7. 閉会 午前10時40分

〔金津主査〕それでは松島町教育委員会会議令和6年9月定例会を閉会いたしますので、閉会の挨拶を鈴木教育長職務代理者よりご挨拶をよろしくお願いいたします。

〔鈴木委員〕はい。今日も素晴らしい活動の内容のご報告をいただきました。教育委員会、素晴らしい実績をつくっておられるなど感じました。

冒頭の、職業人の教育のお話、幅広い方々をお呼びになるのですね。ぜひどんどん発展的に続けてほしいなと思います。ぜひよろしくお願いいたします。

それから、教育長のご報告もいろいろとまとめていただきまして、ありがとうございます。五小さんですか、小規模の特認校の制度、これの取り組み、町も人口が減ってきているので重要ですね。

それから、子どもたちの学力向上に、やっぱり教員の先生方のあり方、姿勢ということで、教育長のほうからこうあるべきだというご指導、これ極めて大切なんでしょうね。なかなかまとめるの大変ですね。そして、先生方、これ校長先生を通じての話もあるでしょうし、どんどんやっていただけるといいなと思います。

それから、町議会の議員からの質問、教育に関して結構関心が非常に多いですね、質問を見ていて感じました。その辺、対応についても積極的な活動をやっているということで、本当にありがとうございます。

あと最後に、行政点検、昨年度も報告、これ最後のまとめ、素晴らしいですね、佐藤実先生。全く素晴らしいまとめ、いただきまして、このとおり実施していければと思いました。

〔金津主査〕以上で閉会いたします。ありがとうございます。（「ありがとうございました」の声あり）

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 金津 晶子

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和6年10月25日

委 員

委 員